

伊勢湾貧酸素情報（第 2 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では溶存酸素量が低下しており、湾中央部を中心に 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

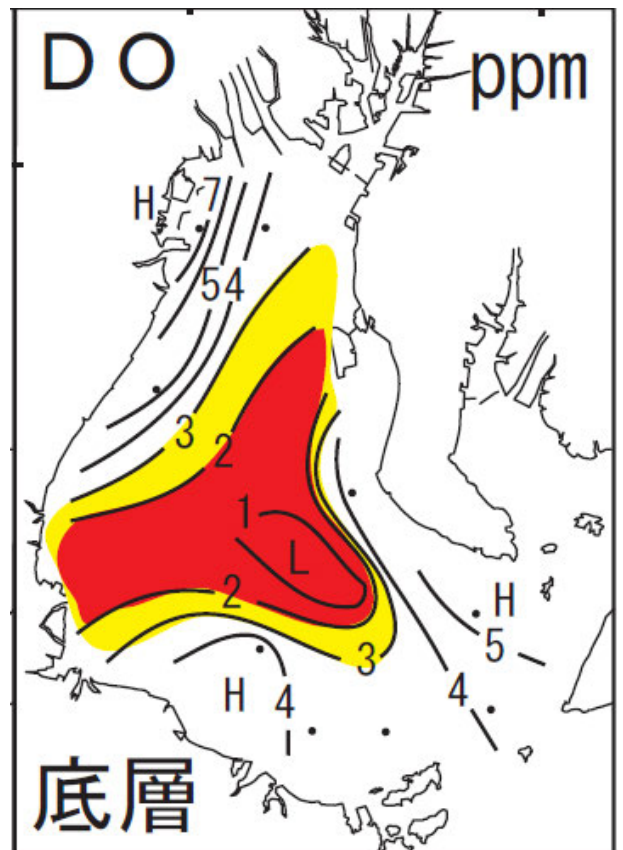
7 月 22 日の調査結果

7 月 22 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 22.3～26.8℃、10m で 20.6～24.9℃、底層で 17.4～24.9℃の範囲にあり、表層は平年よりやや高め、10m で高め、底層ではやや高めから高めとなっていました。

DO（溶存酸素量）は表層で 6.4～11.2ppm、10m で 4.7～7.5ppm、底層で 0.4～7.1ppm の範囲にあり、表層は平年並、10m と底層では平年よりやや高めとなっていました。

底層では湾中央部を中心に 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成されており、1ppm 以下も観測されるなど、先月の観測時より貧酸素化が進んでいました。

今後、表層と底層の水温差などによりさらに海水の上下混合が起こりにくい状態になると思われ、貧酸素化の進行や水塊の拡大が予想されます。



底層貧酸素水塊分布図